

「あえの女神^{かみ}」による活動がスタート

中能登農林総合事務所



能登野菜のおいしさを発信する「あえの女神」



石川の農林漁業まつりで能登米をPRする「あえの女神」

宝達志水町以北の市町やJA、県等で組織される能登野菜振興協議会では、「能登野菜」の生産振興の一環として、近江町市場でのイベント開催によるPR活動を行ってきました。しかし、イベント開催時期と収穫期が重なるため、イベントはJA等の関係者が実施してきましたが、内容もマンネリ化し、生産者の意識も低下していました。

このため当事務所では、新たなPR活動の方法を検討することを協議会に助言しました。検討の結果、能登の食と文化に興味を持ち、かつ能登にゆかりがある積極的な方を「能登野菜キャンペーンレディ」として任命し、PR活動に関わってもらえばどうかという提案が出されました。

この提案を協議会で検討したところ、能登野菜だけでなく、能登米も含めたPR活動を行う「あえの女神（かみ）」として募集することとなりました。ホームページや各種研修会等で応募を呼び掛けたところ、20代～80代まで計7名の応募があり、このうち山菜アドバイザーを含めた多彩な女性3名を「あえの女神」に任命しました。

3名の「あえの女神」は、7月20日の金沢駅における「能登すいかおもてなしイベント」のデビューを皮切りに、金糸瓜（きんしゅうり）の販売促進や県の農林漁業まつりなど活躍の場を広げています。当事務所では今後も「あえの女神」を通して能登の農産物の魅力を発信し、これまで以上に多くの方に関心を持ってもらえるよう彼女たちの活動を支援するとともに、地域一体となった販売促進活動と生産振興に取り組んでいきます。

問い合わせ先：農業振興部（0767-52-5522）